

水飲みテスト

原法(1982年): 30ccの水をコップで嚥下させて、下記の5段階で評価

1. 1回でむせることなく飲める。
2. 2回以上に分けるが、むせることなく飲むことができる。
3. 1回で飲むことができるが、むせることがある。
4. 2回以上に分けて飲むにもかかわらず、むせることがある。
5. むせることがしばしばで、全量飲むことが困難である。

改訂水飲みテスト: 水3ccを嚥下させて下記の5段階で評価

1. 嚥下なし、むせる and/or 呼吸切迫
2. 嚥下あり、むせずに呼吸切迫
3. 嚥下あり、むせる and/or 湿性嚔声
4. 嚥下あり、むせない
5. 4の後に空嚥下が2回/30秒間以上可能



現実的なベッドサイド評価としては、1→5ccまで段階的に増量して、問題なければ30ccまで行うのが妥当と思われる。